

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	授業方法			場所		教員	
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任
○			人間の理解	介護実践の基礎となる「人間の理解」を図り、介護における尊厳の維持と自立支援の在り方について考え、心身の状況に応じた介護の在り方について考察する。	1前	30	○			○		○	
○			社会の理解	生活と福祉、わが国の社会福祉保障制度、介護保険制度、障害者自立支援制度、介護実践に関する諸制度について学習する。	1通	60	○			○		○	
	○		レク・野外活動	環境教育、自然とのかかわりを自然体験活動実習を通して学ぶ。自然の生態系の理解と環境教育の重要性を認識し、野外活動に必要な技術を体得する。	2前	30		○	△	○	△		○
○			介護の基本Ⅰ	介護を必要とする人の理解を深め、人間の多様性及び高齢者の暮らしの実際や障害がある人への理解を深め、介護を必要とする人の生活環境の考え方を学び、生活の観点から知識を深める。	1前	30	○			○		○	
○			介護の基本Ⅱ	介護の歴史や時代の変遷、介護福祉士という国家資格の法的根拠等を踏まえ、介護概論を中心に介護の基礎的知識・技術を習得する。	1後	30	○			○		○	
○			介護の基本Ⅲ	誰もが人間として尊厳が守られ、生活者として主体的に生きることを可能にするための人間尊重を基盤とした「介護観」を育む。人権保障としての介護について理解する。	2前	30	○			○		○	
○			介護の基本Ⅳ	介護における事故防止、安全管理、健康管理の必要性と実施するための具体的な方策等、またそれに係る環境整備、関連職種・期間について習得する。	2通	30	○			○		○	
○			レクリエーション概論	利用者個人の自立を目標としたレクリエーション活動の支援方法について学び、福祉現場に即したレクリエーション活動の能力と実践援助能力を習得する。	1後	15	△	○		○			○
○			生活支援技術Ⅰ	講義で知識を習得した上で演習を行い、科学的根拠に基づいた生活支援技術の取得。移動・移乗の介助、衣類着脱の基本などを演習を通じて学ぶ。	1通	120	△	○		○		○	
○			生活支援技術Ⅱ	講義で知識を習得した上で演習を行い、科学的根拠に基づいた生活支援技術の取得。全介助での生活支援技術を実際の事例を通して習得する。	2通	120	△	○		○		○	
○			介護過程の基礎Ⅰ	生活支援を必要とする対象者の課題を理解し、目標設定のできる思考の展開を講義及び演習を通し概説する。	1前	30	○			○		○	
○			介護過程の基礎Ⅱ	介護過程の意義の知識を深めながら、介護過程の展開を演習を通し理解するとともに、自立支援のための介護過程の実践的展開へと発展させ、介護過程とチームアプローチの重要性を理解する。	1後	30	○			○		○	
○			ケアマネジメント論	利用者の理解を図りながら、必要な情報収集を行い、分析・解釈に基づいて介護内容方法を計画し、実施・評価できるように講義・演習を通して学習する。	1後	30	○			○		○	

